

# 令和4年度 一般会計決算

## 2.2%減 109億2千万円余

物価高騰、コロナ対策の充実で100億円越えに

### 令和4年度 一般会計決算の概要

歳入 (億円)		歳出	
ふるさと納税等の寄附金 10億7519万円	寄附金 9.5%	公債費 14.4%	町債を返納する費用 15億7844万円
町民が納める税金 8億5717万円	町税 7.6%	人件費 15.0%	職員給与などにかかる費用 16億3407万円
自主財源 11億810万円	その他 9.7%	扶助費 6.7%	福祉施策などにかかる費用 7億2857万円
自治体運営の均衡を保つため、国から地方へ配分されるお金 45億8388万円	地方交付税 40.4%	普通建設事業費 17.3%	災害復旧事業を除く投資的な費用 18億9128万円
決まった目的に使うための費用の一部、または全部を国、県から交付されるお金 23億5601万円	国・県支出金 20.8%	物件費 20.2%	災害復旧事業費 1.0% 1億1233万円
町が事業費用の財源不足を補うために借り入金 9億9544万円	町債 8.8%	補助費等 13.6%	消費的性質の費用 22億221万円
依存財源 3億6690万円	その他 3.2%	繰出金 8.6%	負担金、報償費、補償費などの費用 14億9020万円
		その他 3.2%	他の特別会計などへ繰り出す費用 9億5千万円余
			その他 3億5388万円

### ●令和4年度 一般会計決算の認定

○歳入決算額 113億4269万円

対前年度比、3億6414万円、3.1%の減

○歳出決算額 109億2510万円

対前年度比、2億4676万円、2.2%の減

歳入から歳出を差し引いた形式収支は4億1758万円となり、このうち翌年度に繰り越す事業の財源は、1億2235万円となっている。

また、実質収支額は2億9522万円の黒字となっており、この実質収支額から基金への繰入額は2億円とし、基金への繰入額を差し引いた純然たる翌年度への繰越額は9522万円となった。

歳入では、ふるさと納税寄附金が10億7308万円、対前年度比1億653万円、9.0%減。

国庫支出金は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金や新型コロナウイルスワクチン接種に係る補助金等、コロナ対策など交付金はあったが前年度のコロナ対策事業の違いもあり、総額は15億2629万円で、対前年度比3億8466万、20.1%減となった。

歳出では、移住支援員や保育職員、集落支援員に係る人件費の減、障害者自立支援給付費や児童手当に係る扶助費は減となったが、緊急防災・減災事業債元利償還金などの公債費が8470万円、5.7%の増。

投資的経費は、普通建設事業の補助事業、単独事業及び災害復旧事業も、前年度比較で減となっている。

また、一般会計等の決算における健全化判断比率の状況は、実質公債費比率が10.0%、将来負担比率は昨年同様に算定の数値がマイナス43.5%と健全財政となっている。

認定(全員)